

令和7年度 桃陽総合支援学校 後期 学校評価アンケート

確かな学力	健やかな身体	豊かな心		教職員				保護者					児童生徒				病院等関係者											
				よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない							
			学習について	① 児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	37.0%	57.0%	3.0%	3.0%	② 子どもは、学習内容を理解し、基礎的な学力をつけている	11.0%	53.0%	31.0%	5.0%	0.0%	② 勉強はよくわかる	33.0%	38.0%	29.0%	0.0%	③ 導入されたICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	44.0%	23.0%	0.0%	0.0%	33.0%			
									③ 子どもは、話をしっかり聞いている	26.0%	58.0%	11.0%	0.0%	5.0%	③ 私は、先生や友だちの話をよく聞いている	19.0%	62.0%	19.0%	0.0%									
					③ 子どもがICT機器を利用できるように指導する	44.0%	50.0%	3.0%	3.0%	⑤ 子どもは、書籍や新聞、タブレットなどを利用して必要な情報を収集している	16.0%	58.0%	16.0%	0.0%	10.0%	⑤ 私は、本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	34.0%	43.0%	23.0%	0.0%								
					④ 自主学習が習慣づく指導を行う	13.0%	37.0%	47.0%	3.0%	⑥ 子どもは、自主学習の習慣を身につけている	16.0%	21.0%	32.0%	26.0%	5.0%													
					⑪ わかりやすい授業づくりを工夫する(ICTの有効活用を含む)	37.0%	60.0%	0.0%	3.0%	⑫ 学校がわかりやすい授業を工夫している	37.0%	58.0%	0.0%	0.0%	5.0%	⑫ GIGA端末や電子黒板を使って学習することでよくわかる	48.0%	29.0%	23.0%	0.0%								
																⑬ 先生は、私の質問に丁寧に答えてくれる	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%								
			生活について						① 子どもは、楽しく学校(リモート学習を含む)に通っている	26.0%	53.0%	21.0%	0.0%	0.0%	① 学校生活は楽しい	43.0%	47.0%	5.0%	5.0%	① 児童生徒は、楽しく学校生活を送っている	31.0%	64.0%	0.0%	0.0%	5.0%			
					② 子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	27.0%	60.0%	10.0%	3.0%	④ 子どもは、相手に伝わるように話している	16.0%	47.0%	32.0%	0.0%	5.0%	④ 私は、思ったことや考えたことを話している	29.0%	48.0%	24.0%	0.0%								
					⑤ 子どもがすすんで挨拶できるように指導する	23.0%	54.0%	23.0%	0.0%	⑦ 子どもは、あいさつをしている	22.0%	47.0%	26.0%	5.0%	0.0%	⑥ 私は、自分からすすんであいさつをしている	15.0%	19.0%	52.0%	14.0%	④ 来校したとき、児童生徒は挨拶する	11.0%	33.0%	15.0%	13.0%	28.0%		
					⑥ 子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	19.0%	58.0%	23.0%	0.0%	⑧ 子どもは、場に応じた言葉づかいをする	11.0%	58.0%	26.0%	5.0%	0.0%	⑦ 私は、場面に応じた言葉づかいをしている	19.0%	48.0%	28.0%	5.0%								
					⑨ 子どもが協力し合って取り組めるような活動を計画立案する	37.0%	50.0%	10.0%	3.0%	⑩ 子どもたちは、協力し合って、学校生活をおくっている	22.0%	68.0%	0.0%	5.0%	5.0%	⑨ 私は、相手の人の気持ちを考えて行動している	33.0%	57.0%	10.0%	0.0%								
					⑧ 行事のねらいを明確にし、子どもにとって意義のあるものにする	43.0%	50.0%	7.0%	0.0%	⑪ 学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	53.0%	32.0%	10.0%	0.0%	5.0%	⑩ 私は、友だちと一緒に活動すると楽しい(TV会議などの活動も含む)	48.0%	43.0%	9.0%	0.0%	② 学校行事において、児童生徒は生き生きとした活動の様子が見られる	51.0%	36.0%	0.0%	0.0%	13.0%		
					⑦ 社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	20.0%	74.0%	6.0%	0.0%	⑨ 子どもは、社会のルールを守り、生活のマナーを身につけている	26.0%	53.0%	21.0%	0.0%	0.0%	⑧ 私は、学校の決まりや約束を守っている	48.0%	38.0%	9.0%	5.0%	⑤ 児童生徒は、社会のルールを守り生活のマナーを身につけている	13.0%	54.0%	17.0%	3.0%	13.0%		
					⑬ 子どもが自分の健康管理に気を配るように指導する	40.0%	57.0%	3.0%	0.0%	⑭ 子どもは、自分の身体のことについて活動している	21.0%	63.0%	0.0%	11.0%	5.0%	⑬ 私は、病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	29.0%	43.0%	23.0%	5.0%								
					⑩ 子どもの良いところを見つけほめる	71.0%	26.0%	3.0%	0.0%							⑪ 私は、自分自身のことを好きである	24.0%	29.0%	24.0%	23.0%								
				自己理解とキャリア発達に関すること	⑫ 子どもの相談に適切に応じ、内容を共有している	70.0%	27.0%	3.0%	0.0%	⑬ 子どもは、家族や先生に自分の思いを伝えている	16.0%	58.0%	21.0%	0.0%	5.0%	⑭ 私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	24.0%	62.0%	9.0%	5.0%	⑥ 教職員に連絡や相談がしやすい	34.0%	38.0%	13.0%	0.0%	15.0%		
					⑭ 子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす	27.0%	63.0%	10.0%	0.0%	⑮ 学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明している/学校が自立活動についてわかりやすく説明している	48.0%	47.0%	0.0%	0.0%	5.0%	⑯ 私は、学校生活や行事に自分なりの目標をもって参加している	10.0%	38.0%	38.0%	14.0%								
					⑮ 個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	24.0%	62.0%	14.0%	0.0%	⑯ 個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている/子どもにあった自立活動の短期目標が設定されている	42.0%	47.0%	0.0%	0.0%	11.0%													
			教育環境や地域との連携について																	⑦ 桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	13.0%	21.0%	18.0%	27.0%	21.0%			
					⑯ 教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	30.0%	33.0%	27.0%	10.0%	⑰ 学校だよりやホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	48.0%	42.0%	5.0%	0.0%	5.0%						⑧ 学校だよりやホームページを見ると、学校の様子がよくわかる	21.0%	26.0%	5.0%	3.0%	45.0%		
					⑰ 学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	39.0%	48.0%	10.0%	3.0%	⑱ 学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をしている	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%													
					⑱ 保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	29.0%	65.0%	6.0%	0.0%	⑲ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てている	42.0%	58.0%	0.0%	0.0%	0.0%								⑨ 学校・家庭・病院・地域が連携して学校づくりをしている	28.0%	49.0%	3.0%	3.0%	17.0%
					⑲ 近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	20.0%	48.0%	29.0%	3.0%																			
					⑳ 児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	63.0%	37.0%	0.0%	0.0%																			
				㉑ 児童生徒が安全に学校生活をおくることができるように定期的に点検や修繕を行っている。	41.0%	56.0%	0.0%	3.0%																				

前期同様、全体を通して肯定的な回答の割合が高い。その中でも個別の包括支援プランに関する項目⑭「子どもに関することを主治医やスタッフと十分話し合い、個別の包括支援プランにいかす」⑮「個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす」の肯定的な回答の割合が前期と比べると高くなっている。これは、日ごろから教職員が個別の支援プランに対する意識の高さがこの数値になったと考える。今後もこの高さを継続して、質の高い個別の包括支援プランを作成してほしいと考える。

前期と比較すると、全体を通して、多少の割合の変動はあるもの、大きくは変わっていない。その中で項目⑩「子どもは、協力し合って、学校生活を送っている」の肯定的な回答の割合が前期と比べると、高くなっている。当校は、本校・分教室とも入院をしながら通学を行っている。そのため、児童生徒同士の繋がりは深くなると考える。その関係性がこの数値の表れになったと考える。今後も子ども同士が協力し合って、活動することにより密な学校生活を送ることができるようにしていきたい。

前期と比較すると、全体を通して、多少の割合の変動はあるものの、大きくは変わっていない。当校は保護者の欄でも触れているが、本校・分教室とも入院をしながら通学を行っている。その中で項目①「学校生活は楽しい」の肯定的な回答が前期と比べても高くなっている。入院生活をしながら学校生活を送るという生活スタイルにおいて、この数値が出ているのはありがたい限りである。今後も子どもたちが楽しいと思える学校にしていきたいと考える。

当校にとって、学校・家庭・病院・地域の連携は、非常に重要である。密な関係性を築いていくためにも、定期的な連絡やカンファレンスなどを行うことで関係性の向上を目指していきたい。また、学校だよりや学校ホームページを通して、今後も当校の情報発信に努め、より開かれた学校作りを目指していきたい。

【全体を通して】
 ・前期同様、全体を通して、肯定的な回答を得ることができた。
 ・今年度も、教職員は日々の取組に対して、真摯に向き合い、一人一人の子どもたちに寄り添って教育活動を推進してきた。今後もより一層、教育活動に邁進していきたい。
 子どもたちは学校生活を送る上で、悩みも迷っていることもあると考える、そのような際に、子どもたちは教職員を信頼し、相談している。そういった存在が身近にいるということは、子どもたちの気持ちの平穩に繋がっていると思われる。
 ・子どもたちの自主学習の習慣の定着が近年の課題であり、こちらの数値が全体を通して高くない傾向であった。この課題を克服するためにも、本校において「MOMOタイム」という個々による学び直しの時間を導入した。今年度のからの導入であり、まだ今年度の学校評価アンケートには大きくは反映されてはいないように感じられるが、今後、子どもたちの自主学習の習慣の定着に繋がってほしいと考える。

確かな学力の育成:

確かな学力の育成は当校にとって重要な課題である。当校は、何かしらの理由で学習空白がある児童生徒が多い。そのためにも、一人一人の子どもに寄り添った学習を展開し、「できた」「わかった」を経験することで自信に繋げていきたい。

豊かな心の育成:

当校は、本校・分教室とも一人一人の児童生徒に寄り添いながら日々の学校生活を送っている。この関係性が教職員と児童生徒の信頼に繋がっている。この繋がりが、一人一人の子どもたちの安心・安全な居場所づくりとなり、豊かな心を育んでいっていると考えている。

健やかな身体の育成:

家庭・病院・地域と連携を図りながら心身の健康に努めている。子どもたちは、様々な制限下のもとで入院生活を送っている。その中で子どもたちができることを考え、子どもたちの負担にならないような取組を考え、活動を行っている。このように子どもたちに寄り添った活動を行うことにより、一人一人の健やかな身体の育成に繋がっていくと考える。

独自の取組:

病院や関係機関などと連携を図り、専門的なアドバイスを受けることで子どもたちを多角的に見ることができている。日々の学習会や研修会を実施することで教職員の専門性の向上を図っている。